

令和3年度第1回定時評議員会議事録

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和3年6月24日（木曜日）
午前11時00分から午後0時00分まで
- 2 場 所 AP 西新宿 4階ルーム H・I
(新宿区西新宿7-2-4 新宿喜楓ビル)
- 3 評議員現在数 12名
- 4 定 足 数 7名（過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 9名（評議員）
植田昌利、加藤明、神林茂、桐山ひとみ、齋藤武、白戸太朗、
高橋龍三郎、武井正子、富田幸博
- 6 その他出席者 4名
(理事長) 並木一夫、(常務理事) 安藤博
(監 事) 松田二郎、江川秀章
- 7 議 題 (審議事項)
第1号議案 令和2年度事業報告及び決算について
- 8 議事に至るまでの経過
定刻になり、高木敦子事務局長が評議員会の進行を開始。冒頭、当評議員会は定款第19条第1項及び評議員会議規程第8条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告した。
続いて定款第18条の規定により議長の互選を求めたところ、「富田幸博評議員を議長に」との推薦があり、全評議員から「異議なし」の声があったため、富田評議員が議長に就任、議長席に移動し議事を開始した。
議長から、植田昌利評議員と武井正子評議員を議事録署名人に指名したい旨を提案し、全評議員の同意を得、提案どおり選任された。

9 議事の経過及び結果

第1号議案 令和2年度事業報告及び決算について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け高木事務局長が、配付した「令和2年度事業報告書及び決算書（案）」をもとに説明を行った。

(2) 質疑

説明終了後、議長から質疑を求めたところ、以下の質疑及び発言があった。

① (質問)

東京2020大会の実施を活かした新しい事業の予定はあるか。

(回答)

大会後、熱が冷めないうちに事業団以外が運営する施設とも連携した事業の展開を考えている。

② (質問)

コロナ禍で、特に高齢者が弱り、孤独も深まっている。高齢者をターゲットにした事業を展開していくことが必要ではないか。コロナ禍で高まった高齢者のネット利用率も活用したスポーツの発信ができるのではないか。

(回答)

各施設において高齢者を対象とした事業を展開しているところだが、利用者が大幅には伸びないところもある。今後新たな切り口での実施も検討していきたい。

③ (意見)

スポーツ東京案内事業などオンラインを活用した事業について、アフターコロナとなっても、事業展開を終わりにせず充実させてほしい。

④ (質問)

オンライン事業について、当初と現在とでは事業展開に変化はあるか。

(回答)

当初は手探りで始めたが、現在は、例えばスポーツ東京案内事業では、都内スポーツ施設等を検索するシステムや手軽に自宅で取り組めるスポーツ動画の紹介、スポーツ施設を建築・文化等の目線で紹介するエッセイの掲載など、充実させてきている。

⑤ (意見)

「E I M (Exercise Is Medicine (運動は薬である))」ということを発信してほしい。

⑥ (質問)

子供達へ参加を促した事業は実施できたか。

(回答)

新型コロナウイルスの影響により実施できなかった事業も多くあったが、駒沢オリンピック公園総合運動場や東京武道館などでは子供を対象とした事業も実施した。

⑦ (質問)

正味財産増減計算書の経常外収益、経常外費用について、令和2年度決算はゼロだが、例年はゼロではないのか。

(回答)

当財団では通常はありません。

⑧ (意見)

これまで経験のない新型コロナウイルス対応や東京2020大会によって得た経験等を、来年度以降に生かしてほしい。

⑨ (質問)

スポーツ施設では、特に更衣室の換気がよくない。安全対策に万全を期してほしい。

(回答)

利用者が引き続き快適に利用できるよう今後も努めてまいりたい。

⑩ (質問)

埋蔵文化財調査の現場は密になりがちである。新型コロナウイルスの感染防止や熱中症対策など、調査に従事するスタッフの安全管理・衛生管理を十分に行ってほしい。

(回答)

熱中症対策として保冷剤入れの配布の準備を進めるなど取り組んでいる。三密回避の徹底の呼びかけなど、安全には十分配慮して対応する。

(3) 議決

質疑終了後、議長が本議案について諮ったところ、「異議なし」の声があり、第1号議案は、出席した全評議員の一致をもって原案どおり可決された。

10 その他

その他、当事業団の運営等に関して、議長から意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

以上をもって評議員会の議事を全て終了したので、議長は終了を宣言し、午後0時、散会した。